

2025.7.31 朝日新聞

寺や史跡 ゆっくり散歩30年

「東京遊歩会」会長・武田勝彦さん(87)



名刺、観光名所から地域の
小さな史跡・公園まで――。

これまでに仲間と訪ねた場所
はのべ數十カ所をくだらない。
さいたま市の武田勝彦さん(87)
は、各地を散歩する有
志のグループ「東京遊歩会」
の会長を務めて約20年にな
る。月1回の散策が老後の何
よりの楽しみだ。

同会の発足は1995年。

現在の事務局長で、当時証券
会社に勤めていた大藤義次さ
ん(73)が、仕事とは関係のな
いところで人間関係を作りた
い、と東京・有楽町の地下通
路にチラシを置いたのがきっ
かけだった。

武田さんは生命保険会社を
定年退職したばかりの200
0年(?)に、職場の知人に誘
われて入会した。「過去の肩
書きや職歴にどうわねない」と
いう会の方針が新鮮だった。
「職場の退職者同士で集まつ
て昔の仕事をしても新鮮

味がない。違う世界の人とも
会ってみたかった」

現在の会員は県内のほか、
東京や千葉・神奈川などに住
む60人ほど。入会は口コミか
ぼくらんど。平均年齢は約80
歳だが、月1回の会合では寺
や史跡をめぐらながら7~8
キロ歩く。たとえばJR北
山手駅近くの七つの寺社と公
園、記念碑などを見て回っ
た。寺社の歴史や由来を資料
にして配るなど本格的だ。

「散策は休み休みゆつぐり。
それでもみんな健脚です」

散策の解散後は、有志で飲
み会。年1回は1泊のバス旅
行に行く。仲間との交流が老
後の「心の健康」にもつなが
っているという。「個人が主
宰する有志グループで30年も
続いてきたのは、雰囲気のよ
さが背景にあると思う。私は
いつまで続けられるかわから
ないが、会としての次の目標
は40周年です」

(小林未来)